

旅客施設における音による移動支援方策ガイドライン

1. ガイドラインの性格

- 本ガイドラインは、視覚障害者の音案内に対するニーズに応え、視覚障害者がより円滑に利用できるよう、公共交通機関の旅客施設における音案内の望ましい内容を示すものである。公共交通事業者等は本ガイドラインに従うことが義務付けられるものではないが、本ガイドラインを目安として音案内を行うことが望ましい。本ガイドラインは、平成13年8月に見直された「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」に追加的に盛り込む内容として位置づけられるものである。
- 本ガイドラインは義務基準として遵守すべき内容を示すものではないため、個々の内容ごとに例外事項を記述することはない。また、構造上の制約等により本ガイドラインに沿った音案内が行えないことも考えられる。他方、本ガイドラインを超えた内容や本ガイドラインに記載のない内容であっても、移動円滑化に値する内容については、公共交通事業者等は積極的に実施することが望ましい。
- 本ガイドラインは、公共交通ターミナル内の統一した位置・場所で音案内を行うことに

2. 音案内設置における基本的な考え方

①本ガイドラインのねらい
本ガイドラインの作成にあたり、約100人の視覚障害者にヒアリング調査を行ったところ、音による案内は、日常的に利用しているなど、主要経路や施設・設備の位置を大まかに把握しているが、正確な位置と内容を確認したい利用者に対する位置案内として活用することが有効であるということが明らかになった。本ガイドラインの内容は、音による移動支援方策の第一歩として位置づけられ、これらの設置を進めることによって、視覚障害者がより円滑に移動できるようになることを目指すものである。

②本ガイドラインにおける対象者
本ガイドラインは、視覚障害者を対象として検討されているが、視覚障害者の旅客施設利用にあたっては、当該旅客施設の構造、経路、主要設備の配置などについての事前の理解度によって利用特性が異なる。本ガイドラインでは、音案内が特に有効であることが想定される、当該旅客施設の構造、経路、主要設備の配置を大まかに把握しているが、それらの正確な位置と設備の内容を確認したい利用者を対象として、音案内の方法を示している。初めて訪れた旅客施設など、当該旅客施設の施設・設備の有無や位置が把握されていない利用者においては、音による位置案内のみでは十分に移動を支援することが難しい。そのため、本ガイドラインで示す音案内以外に、事前の情報提供、係員による人的サポート（接客）などの総合的な支援策が必要となる。

③本ガイドラインにおいて対象とした場所
本ガイドラインでは視覚障害者が公共交通機関を利用する際に、特に音案内に対す

るニーズが高く、案内が有効であることが想定される。鉄軌道駅の①改札、②エスカレーター、③トイレ、④ホームからの階段、⑤地下鉄の地上出入口などについて、整備の考え方と望ましい内容を示すこととした。視覚障害者のエスカレーター利用については、視覚障害者へのヒアリングを行った結果、エスカレーターの行き先がわからないこと、進入可否が事前にわからないことが利用上の問題点として挙げられ、これらについて案内を行ってほしいとのニーズが高かった。エスカレーターの案内方法としては、視覚障害者誘導用ブロックを敷設することによる音案内を設置することへの要望ははるかに強かったため、まず音声により案内を行うことをガイドラインとして盛り込むこととした。

3. 個別の音案内のガイドライン

	ガイドライン	参考
① 鉄軌道駅の改札口	<p>音案内内</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改札口の位置を知らせよう、音案内内装置を設置する。ただし、乗換専用改札口はこの限りではない。 ●有人改札口が併設されている場合には、有人改札口上に音案内内装置を設置する。 	改札口における音案内内の標準例 「ピン・ボーン」またはこれに類似した音響
② エスカレーター	<p>音声案内内</p> <ul style="list-style-type: none"> ●進入可能なエスカレーター1以上の乗り口端部において、エスカレーターの行き先及び上下方向を知らせる音声案内内装置を設置する。 ●なお、上記音声案内内装置の設置にあたっては、乗り口に近い位置に音源を設置すること、または、乗り口端部にスピーカーが内蔵されたエスカレーターが、なお望ましい。 	エスカレーターにおける音声案内内の標準例 案内文設定の考え方 ●案内内容は、行き先方向を端的に短く伝えることが望ましい。冗長な案内はかえって混乱を招くこととなる。 ●乗車動線上であれば「ホーム方面行き」、降車動線上であれば「改札口方面行き」であることを基本とする。 ●案内間隔はできるだけ短くすることが望ましい。 音声案内の案内文標準例〈標準パターン〉 「行き先」 上下方向 エスカレーターです」
③ トイレ	<p>音声案内内</p> <ul style="list-style-type: none"> ●視覚障害者誘導用ブロックによって誘導された、トイレ出入口付近壁面において、男女別を知らせる音声案内内装置を設置する。 	トイレにおける音声案内内の標準例 ●男子用・女子用トイレが一体的に設置されている場合 「向かって右が男子トイレ、左が女子トイレです」 ●男子用トイレ、女子用トイレが別々に設置されている場合 男子用トイレ入口：「男子トイレです」 女子用トイレ入口：「女子トイレです」
④ 鉄軌道駅のプラットフォーム上の階段	<p>音案内内</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホーム上にある出口へ通ずる階段位置を知らせるため、階段始端部の上部に音案内内装置を設置する。ただし、ホーム隙間警告音、列車接近の警告音などの混同、隣接ホームの音源位置との錯誤によって危険が避けられない場合は、この限りではない。 	プラットフォーム上の階段における音案内内の標準例 鳥の鳴き声を模した音響 なお、交通信号交差点における視覚障害者用付加装置（いわゆる音響式信号機）の案内音（ビヨビヨ・コッコ）とは区別する。
⑤ 地下鉄の地上出入口	<p>音案内内</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地下鉄駅の1以上の地上出入口において、その位置を知らせる音案内内装置を設置することが望ましい。その際、設置場所及び音量等については、駅の立地特性、周辺状況を踏まえる必要がある。 	地下鉄地上出入口における音案内内の標準例 「ピン・ボーン」またはこれに類似した音響

「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン 追補版」（平成14年12月）一部使用 監修：国土交通省総合政策局交通消費者行政課 発行：交通エコロジー・モビリティ財団

■サウンドリピーター EV-X01 [仕様]

電源	AC100V 50/60Hz
定格出力	3W
消費電力	9W
音源方式	44.1kHz サンプリング16bit PCM方式（モノラル）
出力音圧レベル	95dB（3W、1m）
周波数特性	450～11,000Hz
歪率	1%以下（定格出力時）
制御入力	1回路 外部起動：200msパルスメイク方式 割込：マイクブレイク方式 無電圧マイク接点入力 開放電圧：DC3.3V 短絡電流：1mA 着脱式ターミナルブロック（2P）…（本体内部）
センサー	検知範囲：約3.0m 検知速度：約0.3～1.5m/s
設定（本体内部）	スライドスイッチ：メッセージ選択、チャイム選択、センサーON/OFF、再生方式、電源、ロータリースイッチ：再生間隔
操作	ボリューム：メッセージ、チャイム
最大メッセージ数	4（メッセージ：2、チャイム：2）（付属スマートメディアに収録済）
再生間隔時間	∞、0秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分、30分、1時間間隔で設定可能
使用スピーカー	6cmコーン型
防塵・防水性能	IP22（天面を上向きに取り付けの場合）
仕上	ケース：表面処理鋼板 ライトアイボリー（マンセル2.5Y9/1近似色） 半艶
寸法	232（W）×221.2（H）×86.6（D）mm
質量	約3.4kg
付属品	取付金具（本体取付済み）…1、取付ねじ（M4×30）…4、スマートメディア（32MB以上）…1、着脱式ターミナルプラグ（2P、本体取付済み）…1、シール（盲人のための国際シンボルマーク）…1
別売品	スピーカー取付金具：SP-410、SP-131+YS-60B（各2個入）

*別売のプログラムタイマー（松下電工製）を組み込み可能です。

■白杖認識システム [システム構成]



TOAは国際規格である品質保証の「ISO9001」、環境の「ISO14001」の認証登録企業です。

安全に関するご注意

- ご使用前に「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 製品は本来の用途以外には使用しないでください。
- このカタログ記載の製品には電気工事等が必要な場合があります。お買い上げの販売店、または専門業者にご相談ください。配線等の据え付け工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。
- このカタログに記載されている製品を天井等に取り付ける場合、金具等を含む全重量に十分に耐えられる強度のある場所に取り付けてください。十分な強度がないと、落下、転倒によりケガをする場合があります。

設置・ご使用上のご注意

- 製品を常に最良の状態でお使いいただくために、一定期間ごとの保守点検を実施されることをお勧めします。
- 非常用放送設備は消防法により所定の保守点検の実施が義務づけられています。
- 保守点検・修理の期間、費用等はお買い上げの販売店にご相談ください。

●このカタログに記載されている製品価格には設置調整費用、電気工事費用、使用済み商品の引取り費用等は含まれておりません。●このカタログに記載されている製品は改良のため予告なく仕様・価格等を変更する場合があります。●製品の色は印刷のため実際の色調とは多少異なる場合があります。●このカタログに記載されている製品は日本国内専用です。海外ではご使用できませんのでご注意ください。

TOA 株式会社

札幌 TEL (011) 780-1001代	東京第1 TEL (03) 5621-5761代	京都 TEL (075) 212-4100代
青森 TEL (017) 723-3751代	東京第2 TEL (03) 5621-5782代	神戸 TEL (078) 303-5625代
盛岡 TEL (019) 636-4231代	東京第3 TEL (03) 5621-5790代	岡山 TEL (086) 241-8029代
仙台 TEL (022) 256-8100代	セキセイテック TEL (03) 5621-5801代	広島 TEL (082) 291-3988代
セキセイテック TEL (022) 256-8100代	静岡 TEL (054) 237-8850代	高松 TEL (087) 866-5995代
那覇山 TEL (024) 923-7744代	金沢 TEL (076) 244-1951代	松山 TEL (089) 931-1586代
水戸 TEL (029) 231-9811代	岐阜 TEL (058) 276-1401代	北九州 TEL (093) 581-4722代
宇都宮 TEL (028) 633-9661代	名古屋 TEL (052) 509-7851代	福岡 TEL (092) 431-0061代
多摩 TEL (042) 584-1711代	セキセイテック TEL (052) 509-7852代	福岡 TEL (092) 473-0809代
長野 TEL (026) 234-2231代	セキセイテック TEL (059) 224-6645代	津 TEL (059) 224-6645代
新潟 TEL (025) 246-2316代	大阪第1 TEL (06) 6260-1525代	熊本 TEL (096) 360-5907代
千葉 TEL (043) 234-6511代	大阪第2 TEL (06) 6260-1526代	鹿児島 TEL (099) 256-5245代
さいたま TEL (048) 685-5131代	大阪第3 TEL (06) 6260-1527代	那覇 TEL (098) 866-5598代
横浜 TEL (045) 444-3422代	セキセイテック TEL (06) 6260-1528代	

※このカタログに掲載されている製品の価格はすべて希望小売価格です。

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、
取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA インフォメーションセンター
商品の内容や組合せ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。
☎ **0120-108-117** フリーダイヤル 受付時間 9:00～17:00（日曜・祝日除く）
〒665-0043 宝塚市高松町2番1号
TEL.0797-72-7567 FAX.0797-72-1090

TOA インターネット・ホームページ
最新情報はもちろん、音にまつわるライブラリも充実。 <http://www.toa.co.jp/>

■お問い合わせは下記の取扱い店へ

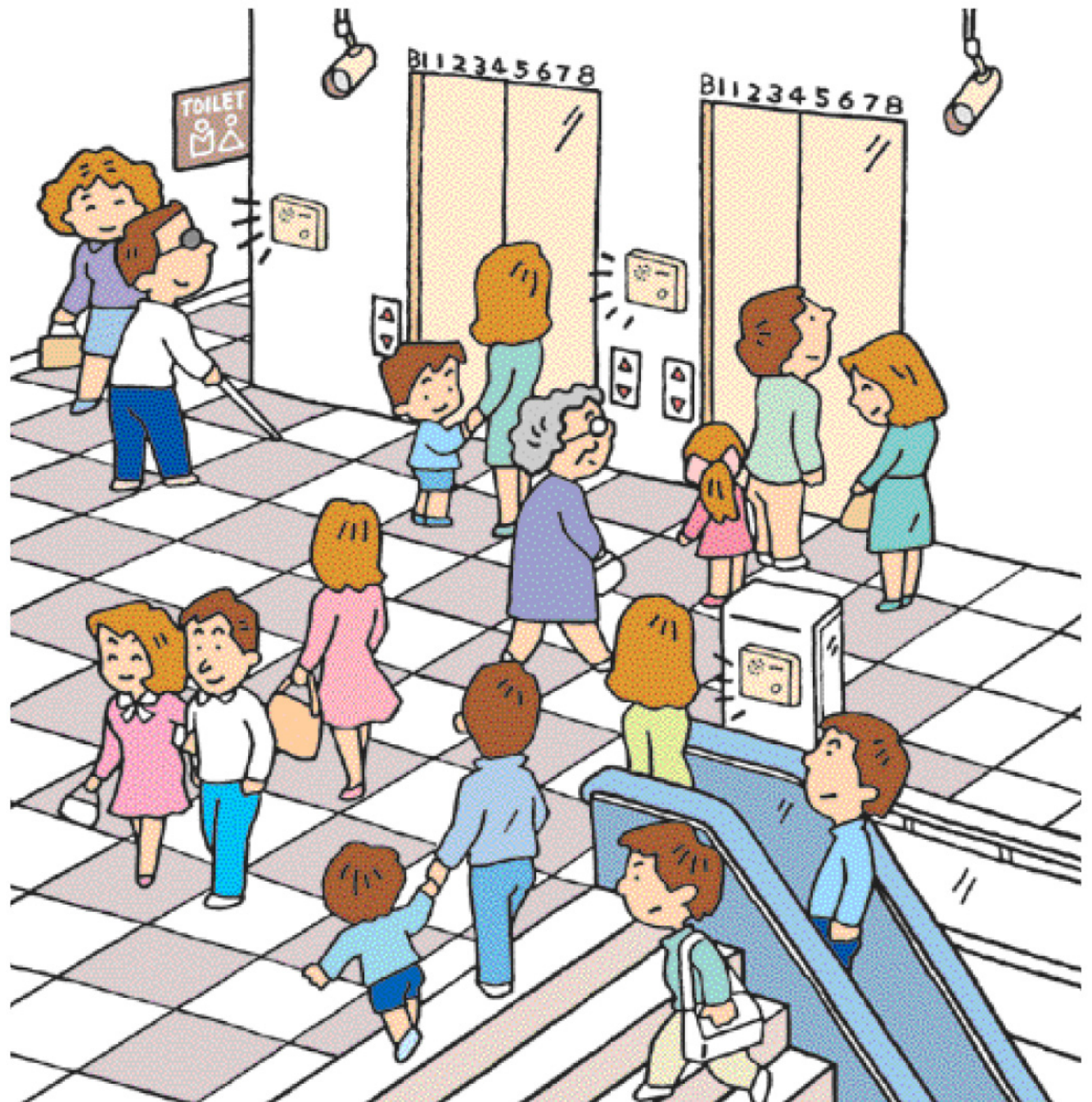
2006.05

●このカタログは平成18年5月現在の仕様・価格に基づいて作成されています。カタログNo.B-052 TH05



バリアフリー対応 音声案内システム

TOAは、みなさんが安心できるまちづくりをバックアップします。
交通バリアフリー法（平成12.11.15 移動円滑化基準）、ハートビル法（平成6.9.26）に準拠



サウンドリピーター EV-X01



白杖認識システム



<http://www.toa.co.jp/>

TOAは、音声による的確な情報伝達により、すべての施設利用者の方に優しい社会環境作りを推進しています。

駅や空港、庁舎などの公共空間において、高齢者や目の不自由な方に安心で安全な施設利用をサポートするため、TOAでは単なるサイン音だけではなく、音声による具体的な周辺情報や状況把握のためのアナウンスや情報を伝達できる機器・システムを開発・導入のご提案を行っております。

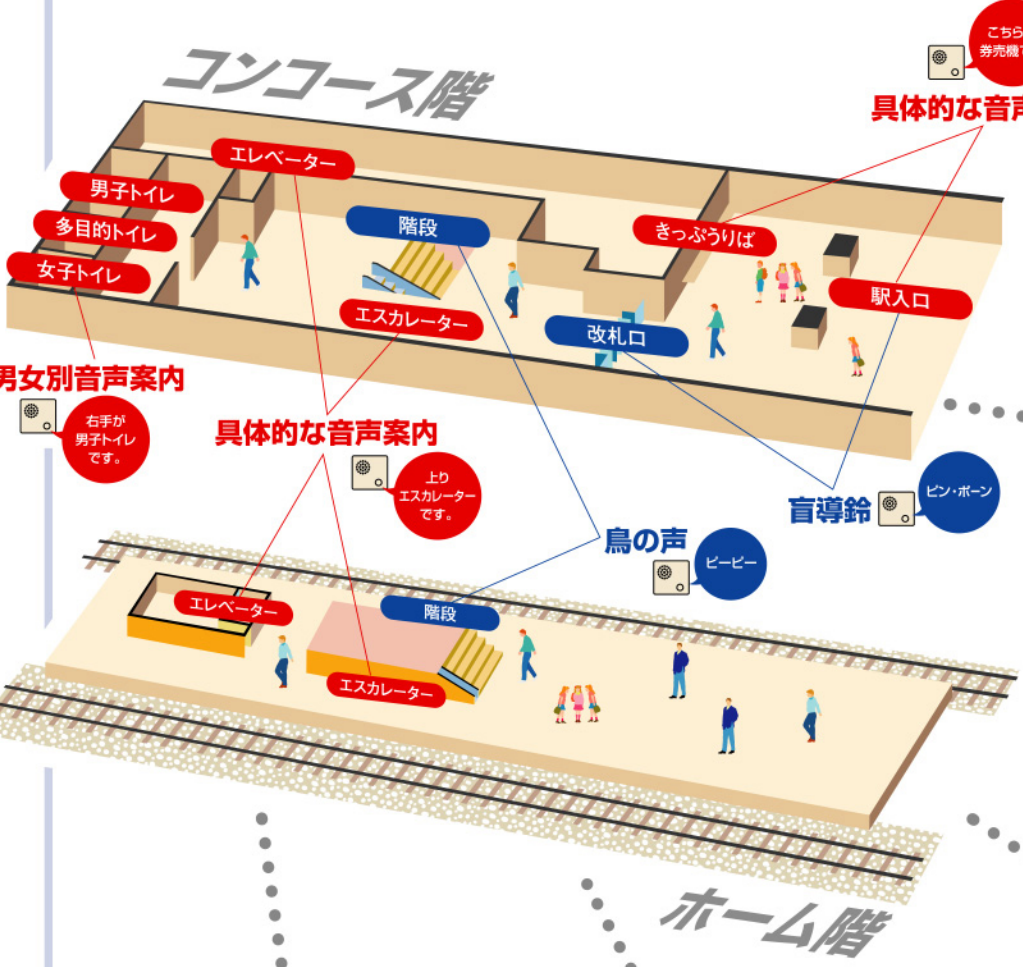
設置場所例

【駅、空港などで】
改札口(入り口)、券売機(チケットカウンター)、トイレ、階段、エレベーター、エスカレーター、案内板、他

【市役所などの公共施設、大型商業施設などで】
入り口、総合案内板、トイレ、階段、エレベーター、エスカレーター、他

Station & Airport 駅や空港でも…

人感センサーによる音声自動アナウンスで、移動案内放送を流すことでスムーズな誘導が可能です。



サウンドリピーター

EV-X01



国際シンボルマークシール付き

アンプ一体型スピーカー

小型放送に必要なアンプとスピーカーの一体型サウンドリピーター。メモリーに任意登録した案内メッセージやBGM等を自動的に繰り返し放送することができます。

3タイプの再生

- ①内部センサー感知時(検知範囲約3m)
- ②外部接点入力時(無電圧マイク接点)
- ③繰り返しタイマー設定
(∞、0秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分、30分、1時間間隔)

センサー起動

内蔵センサーだけでなく、外部センサーからも人が近づいたことを感知して、メッセージを自動放送することができます。また、外部センサーと組み合わせれば、2箇所のエリアを通過した場合の放送も可能になります。

標準メッセージ内蔵

- CM1: エスカレーター上り案内
- CM2: エスカレーター下り案内
- BGM1: 盲導鈴(ピン・ボーン)
- BGM2: 鳥の鳴き声

防滴仕様

直接雨のかからない玄関や軒先、トイレなどの壁にも設置可能です。

環境配慮

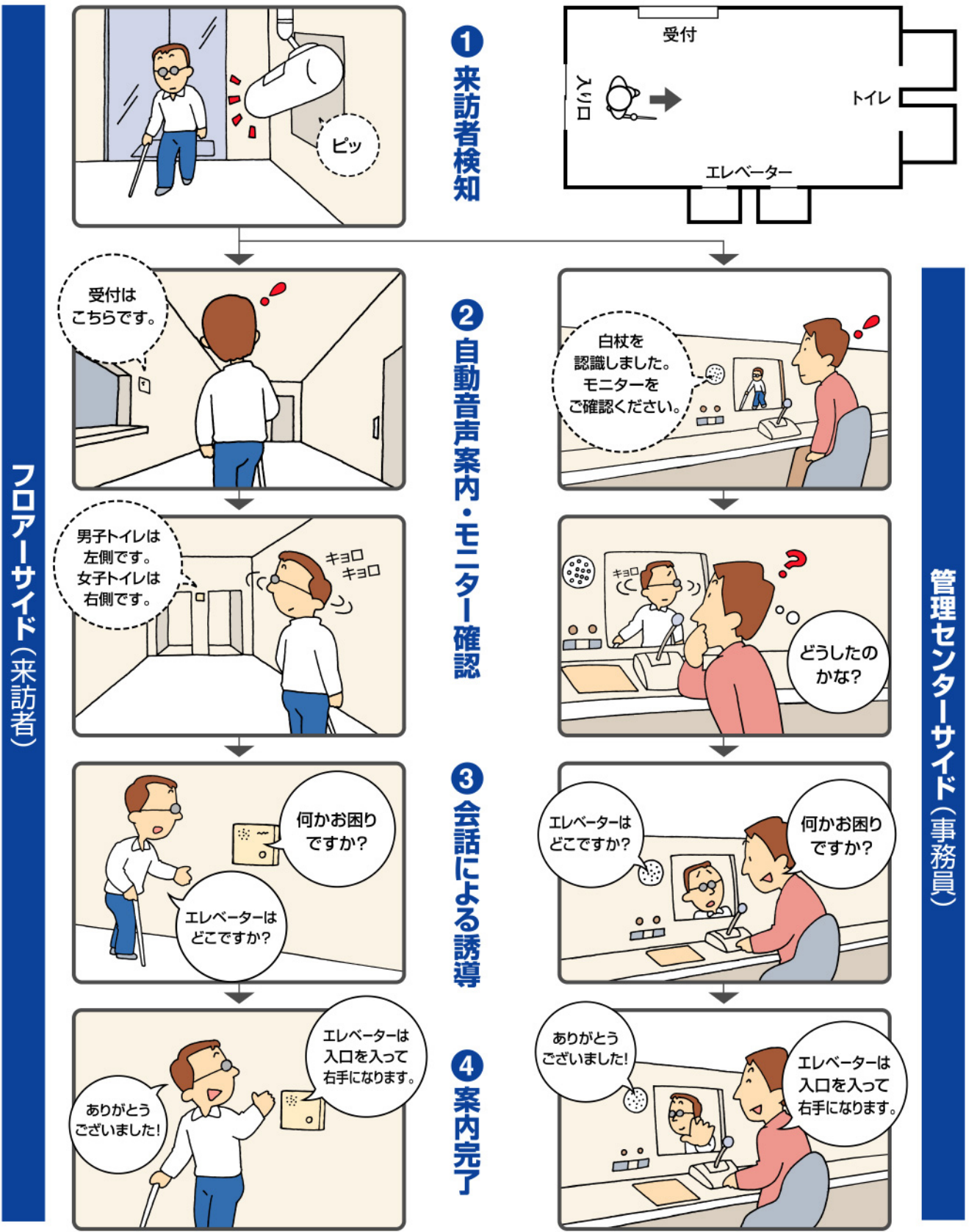
別売の24時間タイマーを内蔵すれば電源コントロールが可能になりますので、駅などで夜間には電源をOFFにして、周辺住民への騒音クレームにも対応できます。

他に時間によって音量を可変できる高機能タイプもございます。別途最寄の営業所にお問い合わせください。

Utility

市役所などの公共施設でも…

目の不自由な方の白杖を白杖認識システムで認識し、自動放送による案内アナウンスを流すことができます。また、自動音声案内だけでは不十分な場合は、管理事務所に視覚障害者の方の来訪を音声で通知し、モニターに対象箇所の画像を表示し、インターカムでの事務員との会話による案内や誘導も可能です。

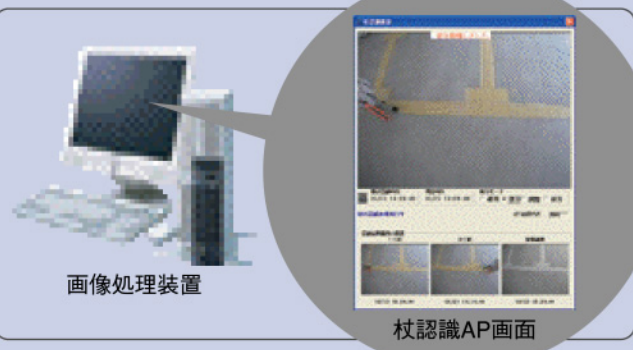


白杖認識システム

①カメラで撮影



②白杖を画像認識



③音声案内



・カメラの映像から視覚障害者の白杖を自動検知し、放送機器と連動して、その場所に応じた音声案内メッセージをスピーカーから自動放送します。

・マイクとスピーカーを通して、必要に応じて事務員と視覚障害者の方が直接通話することも可能。

・特別な端末や専用白杖は必要なく、普段使用している白杖がそのまま使用できます。